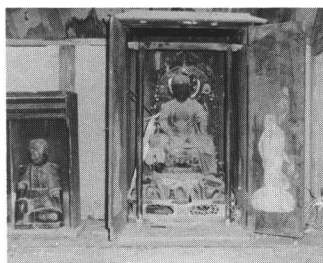




木之崎鼻取地藏



北作の地藏様

鼻取地藏

《木之崎》

泉福寺入口の石の祠に納められた地藏様が二体ある。この地藏様は、鼻取地藏と呼ばれ、田の代かきの時、童子の姿となつて鼻取りをしてくれた地藏様といわれている。

前屋敷の地藏様と呼ばれて、ある所から移されたという。移した時の年号か、奉納した時の年号か、「延享元甲子八月吉日地藏菩薩新造 願主 善男善女」とある。

(話者 橋本ミツ)

昔、京都より背負つて来たといわれている。脇仏は鈍彫の膝立座像で、俗に泣虫地藏といわれている。昔から子どもたちがこの地藏様を堂から出して、ひきずり廻して、遊び親しまれた仏である。

この地藏様の厨子の底には、正徳元年の銘があり、味戸、円名など村の人たちの名前が記されている。

岩瀬二十四ヶ地藏尊、札所第二番となつていて和歌がある。

からたせん遠くおもふなた、頼め

阿字ほん体はこ、北作

今、お堂は屋敷の集会所となつている。

(「梓衝村誌考」・「長沼町文化財」写真集より)